



キクロスホームページ <http://www.library-kikuchi.jp>
 キクロスフェイスブック <https://www.facebook.com/KiCROSS.LL/>

図書館

今月のおすすめ本 テーマ「夏本！」



- 1 幻夏**
太田 愛 / 著
著者が有名な刑事ドラマの脚本家のせいか、その世界観を彷彿とさせます。読後の何とも切ない感じは夏の終わりに似ています。
- 2 地球の歩き方 世界のお酒図鑑**
地球の歩き方編集室 / 編
懐が寂しいときは妄想旅行に限る！コストは0、必要なのは想像力だけ。この夏、お酒で世界一周しませんか。
- 3 なみ**
スージー・リー / 作
波と女の子の追いかけてこをモノクロと青の世界で表現した美しいイラスト。韓国の作家が描く文字のない絵本です。
- 4 パパのくれたおくりもの**
芭蕉みどり / 作・絵
双子の子ネズミが、少し意地悪だけど、本当は優しいお兄ちゃんと海辺で出会うお話です。絵も綺麗で大人も楽しめます。

今月の図書館イベント

現役パイロットによる「キクロス航空教育」

パイロットによる仕事講座。聞いて、見て、学ぼう！

- とき** 8月19日(土) 午後2時～3時
- ところ** 中央公民館 大研修室
- 対象・定員** 小中学生30人程度(要申し込み)

中央図書館 ☎0968(25)1111
 七城図書館 ☎0968(25)1580
 旭志図書館 ☎0968(25)3332
 泗水図書館 ☎0968(25)1115

休館日
月曜日
※七城・旭志は日休館

公民館

6月に終了した公民館主催講座を紹介！

公民館では、さまざまな工夫やアイデアを凝らし、市民の「学び」と「活動」を応援しています。6月に終了した講座の一部を紹介します。

●木彫入門!! めざせ彫刻刀名人 (5月・6月、全5回、中央公民館)

受講生21人が、オリジナルの手鏡作りに挑戦。彫刻刀で木を彫る楽しさに魅了され、熱心に制作していました。世界に一つだけの手鏡が完成し、皆さん大満足でした。



●スマホ入門【Android版】 (6月、全3回、中央公民館)

15人の受講生が、スマートフォンの基本的な使い方や、便利な機能について学びました。自分のスマートフォンを使った学習で、講師と一緒に熱心に取り組む様子が見られました。



●菊池川流域日本遺産、菊池の史跡とその周辺の様相 (5月・6月、全3回、七城公民館)

菊池・山鹿地域の菊池川流域遺産、史跡について20人が受講。第2・3回は七城・山鹿地域をバスで巡りました。「現地研修ができ、講座が楽しかった」といった声が聞かれました。



●ワン・ニャンちゃんとのステキな日常 (6月、全1回、泗水公民館)

受講生15人が、ペットとの楽しい生活を送るために大切なことを学びました。イヌ・ネコの病気やその予防法、餌の与え方を学習。質疑応答もあり、日頃の不安も解消できたようです。



中央公民館 ☎0968(25)1672
 七城公民館 ☎0968(25)1580
 旭志公民館 ☎0968(25)3332
 泗水公民館 ☎0968(25)2028



万句の里俳句会 6月例会

雨弾き凜と咲きけり百合の花
 乗り出して飛び立つ構へ燕の子
 麦秋や学徒動員ありし頃
 でで虫やそりりそりりと能の舞ひ
 万緑を磨き尽くして雨上る

加藤 妙子
 川口 二子
 隈部 輝子
 吉田 和弘
 岩木 敬治

七城短歌会 6月詠草

薄青の空に流れるバルーン二機夢広がらぬ宇宙にゆきたし
 朝露の芋の葉っぱはすべり台水玉となり大地に還る
 大雨が無くとも川は水ゆたかまなかなひ田植えは佳境を迎う
 半世紀和ませくれし庭の松わくら葉赤く立ち枯れ寸前
 又も生え伸びる庭草憎しみを手先に伝え力込め抜く

井藤 和俊
 渡辺 光夫
 緒方 正俊
 嶋田 晴美
 緒方 寛子

せせらぎ俳句会 6月例会

うたかたの疵の声聞く花卯木
 迷惑と嬉しさ混じり燕の巣
 三角の猫の額も田植かな
 夏至夕べ疲れは人を無口にし
 夏の雨異郷の姉に思ひ馳せ

守田 惟誠
 藤本アツ子
 坂崎ユキ子
 藤本 邦治
 森 正子

「里」短歌会 6月詠草

わが畑のぢやが芋いんげんふだんそう初夏の夕餉の野菜満喫
 梅の実の空き家の庭に落ちたまま生り年なのか放つ香りの
 戦いと地異の哀しみ続く日々せめて見上げる里山の青
 「ほーほーたるこい」父に背負われし弟とわれの声を水無月昏し
 「米作りやめた」と告げ来し友の去ぬみずみずしかるトマトを置きて

山城 雅子
 緒方 悦子
 宮本 淑子
 坂本 玲子
 松竹 洋子

旭志文芸教室俳句の会 6月詠草

老いてなお挑む心の五月晴
 子供の日大きな靴の並びけり
 飲み干せば味と香りの新茶かな
 囁りは我を励ますハーモニ
 春隣ひと逝く朝や夢に会い

稗田 達恵
 藤本けい子
 水上 玲子
 水谷 ミネ
 芹川 蓉子

溪流短歌会 6月詠草

まっ直ぐにただまっすぐに苜蓿の葉これほど素直に立つは美し
 じいじいの退院聞きて走り来て心配そうに孫は見上げる
 病室の窓を開きて青垣山を眺むる吾に黒南風の吹く
 忘れゆく頭に楡を入れゆきつ鏡の前のわれを見つむる
 降りてやみ止みてまた降る梅雨の日の雨かぜ受けて半夏生咲く

堤 よしみ
 田中 遥子
 中川 愛子
 山城 雅子
 木原 美子

菊池短歌会 7月詠草

例外のひとつだになき人の世を事も無かりげなる春の落葉
 百歳に近づく吾が身露けしや下弦の月もおぼろに照りて
 提げ来たる衣類の下に青森のりんご五六片潜ませてあり
 原生花園見せたかったと過去形にしたくないから今日は旅立つ
 10センチまたもう一度10センチ草刈るわれは風景になる

怒留湯 健蓉
 中川 愛子
 山田 博
 安藤 則子
 小堀 久男

【お詫びと訂正】
 広報7月号「溪流短歌会 5月詠草」の短歌に誤りがありました。正しくは次のとおりです。お詫びして訂正いたします。

【誤】見えざれば見えざるままにただよひてしみじみ思ふ今生の緑
 木原 美子
 【正】見えざれば見えざるままにただよひてしみじみ思ふ今生の緑
 木原 美子

入会希望など詳しくは、それぞれの句会や歌会にお尋ねください。

万句の里俳句会 井芹 ☎090(1342)2151
 せせらぎ俳句会 藤本 ☎0968(38)4087
 旭志文芸教室俳句の会 中尾 ☎0968(37)2578

七城短歌会 佐々 ☎0968(24)3761
 「里」短歌会 / 溪流短歌会 木原 ☎090(5284)2418
 菊池短歌会 安藤 ☎0968(25)4285